

第 1 回三木市中小企業振興審議会議事録

- | | | |
|---|-----------------|--|
| 1 | 日時・場所 | 平成26年11月17日(月) 午後6時00分から午後8時00分
市庁舎4階 特別会議室 |
| 2 | 出席者 | 〈委員6名〉
佐竹会長、浅野委員、井澤委員、鶴目委員、栗井委員、吉見委員
〈事務局6名〉
岩崎理事兼政策監、永尾産業環境部長、藤原商工課長、
小山商工課主査、荒田商工課主査、田中商工課主任 |
| 3 | 欠席者 | 鈴木副会長 |
| 4 | 会議の公開、
非公開の別 | 公開 |
| 5 | 傍聴人の数 | 0人 |
| 6 | 開 会 | |
| 7 | 議 事 | |

会長	三木市中小企業振興策について、事務局から説明していただきます。お願いします。
事務局	<p>本日の審議会の流れですが、4月からの半期分の施策の実施状況の説明をさせていただき、委員の皆様から施策の評価をしていただき、会長にとりまとめをお願いいたします。</p> <p>配布させていただいた資料1「三木市中小企業振興審議会答申の概略と三木市中小企業施策の連関表」、資料2「平成26年度上半期中小企業振興施策の実施状況」についての説明</p>
会長	ミャンマーのヤンゴン市との経済交流視察について、お聞かせください。
事務局	行政のみの視察で、中小企業サポートセンターのセンター長が随行しました。既にヤンゴン在住で起業されている方で関西国際大学の顧問である方に市の非常勤職員として、ミャンマー友好推進顧問に就任していただいた。最近、関西国際大学とヤンゴン大学との友好協定が

	<p>締結されたこともあり、産官学で連携を進めていきたいと思っております。金物業界の企業5から6社程度の視察団が現地に行く予定です。ミャンマー友好推進顧問が帰国される時は、市内の企業向けの相談会を開催しております。</p>
会長	<p>6次産業化推進事業についてですが、6次産業化に観光を加えて、9次産業化というものがあります。6次産業化で作ったモノを観光で活用することも、今後、加える必要があります。6次産業化で作ったモノを食べさせるところはありますか。</p>
事務局	<p>将来的にですが、三木市の西の玄関口にカフェテラスを開設します。</p>
会長	<p>食べさせるところがないと買いませんね。</p>
事務局	<p>市内の量販店で、アンテナショップとして6次産業化の商品を販売しています。食べるモノとして、バジルパスタを調理販売しています。</p>
会長	<p>特許権等取得助成金についてですが、利用できるのは、金物関係ですか。</p>
事務局	<p>金物に限定した制度ではありません。</p>
会長	<p>関西国際大学の学生の定住については、どうなっていますか。</p>
事務局	<p>アパートなどの住居の供給面が追い付いていません。学生向けのアルバイトも少ない。神戸市西区から通学されている方が多い。関西国際大学では、看護学科があり、来年は大学院が設置されます。緑が丘地区では、住み替え促進ということで、高齢者の方は、サービス付き高齢者マンションに転居していただき、高齢者の方が住んでいた更地を含んだ中で、学生マンションや若者世代の住宅を整備しようとしています。</p>
会長	<p>中小企業融資対策については、アベノミックスの関係で、全国的な話だと思われまます。融資については、どう思われますか。</p>
委員	<p>小規模事業者無担保無保証人融資については、保証料・利息負担無なので、実質金利ゼロということになります。設備投資をする場合、融資は返済しないといけません、補助金はもらえるものなので、効果を考えると、融資と補助金のバランスが大切です。</p>
会長	<p>三木金物後継者育成について、弟子の方は、地元の方ですか。</p>

事務局	現在の弟子の方は、伝統工芸の大学校出身の方です。過去の弟子の方は、包丁職人の弟子をしております。
会長	委員の皆様のご意見をお聞かせください。
委員	起業支援事業について、中小企業支援ネットワークのサポートセンターでされているのですか。それとも別のところでされているのですか。
事務局	サポートセンターの起業セミナーは、性別関係なく実施しております。女性起業セミナーについては、サポートセンターでなく、市が実施しておりますが、起業の実現への支援については、サポートセンターで個別に相談に応じています。
会長	サポートセンターの実績は、結構な数であります。掘り起しはどうされていますか。
事務局	中小企業支援コーディネーターが企業訪問をして、認知度の向上を図っています。
委員	サポートセンターの実績の件数は、かなり多いですね。
事務局	リピーターもかなりあります。
委員	サポートセンターの相談内容は、どうなっていますか。
事務局	資金の相談が多く、中でも補助金の申請が多いです。
会長	政令市の広島市、北九州市では、積極的に補助金申請を支援しています。
事務局	サポートセンターでも、補助金申請の支援をしています。サポートセンターを開設する前に、八尾市に視察に行きましたが、そこでも積極的に補助金申請の支援をしています。
会長	補助金申請セミナーの開催をやってください。国の補助金はチャンスです。
委員	国・県・市のすべての補助金制度を提供する機会あればいいと思います。そこに金融機関や信用保証協会を入れて、利子補給や保証料補給を説明すれば、なお、よいと思われます。補助金申請については、

	<p>計画作りがおっくうになりことが多いようです。補助金申請を支援する機関あれば便利です。</p>
会長	<p>中小企業支援コーディネーター（中小企業診断士）5名の分野はどうなっていますか。</p>
事務局	<p>コーディネーターについては、ものづくり系のメーカー出身が3名、商業系が2名で、認定経営革新支援機関でもあり、補助金ノウハウも豊富なので、広島市や北九州市と同様に、補助金申請を支援しています。</p>
委員	<p>円安が進行していますが、金物の輸出環境は、どのように評価されていますか。</p>
事務局	<p>輸出については、主にヨーロッパ、アメリカ向けですが、伸びているというより、落ちていないという状況です。直近のデータが出ていないので、明確な回答はできませんが、輸出は安定しているようです。</p>
委員	<p>いろんな業種の起業もいいが、強い業界をより強くした方が、人が集まりやすいし、ノウハウも蓄積しやすいと思います。</p>
会長	<p>大工道具については、日本国内でブランド力、競争力は一番あります。</p>
委員	<p>元々集積があり、輸出されている会社もあり、技術・ノウハウが蓄積されているので、全く新しい事業など起業させるより、シナジーが働くのではないかと。 どこの企業でもIT技術者が不足しています。光ファイバーがあればどこでも起業できるので、市内だけでなく、市外から呼び込むことも必要です。マルシェなど市内の活性化によって、三木市がおもしろいとなれば、市外から若い人が来られるのではないかと。 消滅自治体についてですが、10年後、20年後に若者が定住していくうえで、住宅リフォームが多いことはいいことです。 空き家対策について、若い人に安く住んでもらいます。金物中心とした強いところを活性化すれば、付帯産業もついてくるのではないかと。</p>
会長	<p>2040年に消滅自治体が全国で523あり、その内、兵庫県内で21自治体があり、三木市が入っていましたが、どう思われますか。消滅というより、人口が半減するという事です。</p>
事務局	<p>市は危機感を持っています。毎年、人口が500人から600人に</p>

	<p>減少しています。ニュータウンの空き家が目立ちます。ニュータウンの高齢化率は、38%程度になり、戸建ての分譲住宅ばかりで、第2世代が出ていってしまい、第1世代が残っているところが多いです。</p> <p>その中で、縁結び課を新設し、空き家バンク、家賃補助、保育料の軽減など若者を呼び込むための施策を実施しておりますが、PRが不足しているように感じています。</p>
委員	<p>施策の方向性の「商店街のコミュニティ空間を提供し、子育て世代、高齢者を中心に多世代の交流の場として、まちのにぎわいを再生」について、アクションプランのどこに入っていますか。</p>
事務局	<p>具体的な施策はありませんが、マルシェは、商店街を通じて多世代の交流場を提供しています。</p>
委員	<p>社会福祉協議会のボランティアフェスタでは、多くのサークルが参加されています。社会福祉協議会と連携すれば、にぎわいをつくることのできるのではないのでしょうか。地域のボランティアに補助を出すことも有効です。</p>
委員	<p>金物を使った体験教室に関連しますが、中学生にはトライアルウィーク、三木東高校ではアントレプレナーシップ教育を実施されています。地元の人に地元で就職していただくことが大切です。将来にわたって三木の金物を盛り上げる働きかけをする必要があります。</p>
会長	<p>時間はかかりますが、三木金物の将来にとって、学校での教育は大切です。</p>
会長	<p>有効求人倍率はどうなっていますか。</p>
事務局	<p>ハローワーク西神管内で0.68です。</p>
会長	<p>全国の正社員の有効求人倍率は0.67で、非正規雇用の枠が広がっています。</p>
会長	<p>施策の評価について、評価できる、改善する、こういうところは増やすという3つの観点で、委員の皆様にお聞きします。</p>
委員	<p>金融、中小企業サポートセンター、補助金の件数を見ると、うまく進められています。観光、商業、女性の活用もさらに進めていただきたいと思います。数値的なところを見ると、よくやられていると思います。</p>

会長	一つの大きな成果としては、中小企業サポートセンターの開設が大きいです。数値的にも頑張られていて、補助金、融資が順調に進んでいます。1日2名で延べ10名の体制で充実しています。
委員	件数を見るとよくやられています、山田錦が足りないと感じます。水田に旗が立っていますが、生産は増えているのでしょうか。
事務局	面積の観点で申しますと、既存面積プラスαで生産できるように規制が緩和されました。三木市全体で150haだったのですが、消化することができず、8割程度の120から130haとなりました。障害になっているのが、遊休地、自家消費米生産、反収が多い特産黒大豆生産です。
委員	全国的に有名な日本酒が、この辺の山田錦を使用していると経済紙に掲載されているのをよく見かけます。いい宣伝になっていると思います。
事務局	兵庫県では様々な地域で山田錦を生産しているのですが、最上級の品質である特Aランクの山田錦を生産している地域が、吉川、口吉川東条（加東市）です。
会長	金物を中心としたものづくり、観光、商店街を中心とした商業、そして、農業の4本柱で進めていくことが大切です。
事務局	山田錦については、150haまで戸別補償を三木市独自で反あたり7,500円で実施しています。
会長	農商工連携の農ですし、観光、商業にもかかわってきますので、三木市独自の農業振興策についても、中小企業振興施策に入れられた方がよいです。
委員	中小企業振興策について、目標をオーバーして達成しているものもあり、チャレンジされているところがよくわかります。中小企業の経営者は、よくやっているなど感じられていると思いますが、2040年の消滅自治体という危機感を感じながらも、がんばっているところを市民にアピールする必要があります。
会長	人口動態に関係する今年4月に新設された縁結び課では、雇用確保の観点で関わってきます。施策評価を公表する必要があります。
委員	500人の人口が減少している原因は、高齢化による自然減もありますが、社会減もあるのではないのでしょうか。人口は、市の力のパロ

	<p>メーターです。</p>
会長	<p>アベノミックスの関係ですが、交付税は定住人口でとらえられていましたが、定住人口に観光客や勤務といった交流人口を加えた交付税を、現在、総務省は考えています。どこまで交流人口なのかという点は難しい部分もあり、例えば、ゴルフ場を利用しただけで、他にお金を落とさないのはどうなるのか。車で行けば、お酒が飲めない。</p>
事務局	<p>市内のゴルフ場は25か所あり、西日本一の数です。 吉川町商工会では、吉川地域のゴルフ場に来場された方を対象に、吉川町の商店に立ち寄っていただくためのスタンプカードを作成し、スタンプが揃ったら、プレゼントをする事業を実施しています。</p>
会長	<p>吉川町商工会の取組などの既存施策も中小企業振興策にあげる必要があります。</p>
委員	<p>ゴルフ場ではお酒は飲めませんが、販売してはどうですか。ゴルフ場内に三木市でしか買えない日本酒の大吟醸を販売するお店を作ります。道の駅みきで販売されている日本酒の銘柄が増えています。</p>
事務局	<p>ゴルフ場の支配人会というものがあるのですが、地元の商品を販売していただくことも必要だと思っております。ゴルフ場では、いいもので高いものであれば、販売してもいいというニーズがあります。 ゴルフ場のシェフの方が、山田錦の館で地元野菜を食材として購入されています。 昔は、ゴルフ場一つで100名以上の社員が雇用されていましたが、現在、機械化、省力化を図り、少人数で運営し、フロント以外は、外注で対応しているところもあり、雇用確保の場としては難しくなっています。 三木市のゴルフ場の魅力として、テレビ放映のプロゴルフトーナメントが4回開催されています。</p>
委員	<p>起業といった挑戦とセーフティネットとの両方ができているので、アクションプランとしては、いいと思います。行政として十分に提供はできていますが、広く知ってもらい、住民の参画意識を高める必要があります。例えば、クラウドファンディングという手法もあります。</p>
委員	<p>補助金は、自分で探さないとわからないし、書き方もわからない。中小企業サポートセンターでは、訪問して、説明してくれるのは非常に便利です。 若い人を呼び込むのは、このくくりではないかもしれませんが、縁結び課で、若者世代新築やリフォーム、ワーク・ライフ・バランスな</p>

<p>会長</p>	<p>ど若い人向けのくくりがあればいいと思います。</p> <p>このくくりは、中小企業振興条例に基づいてまとめたものです。一つの成果は、中小企業サポートセンターです。相談件数、補助金・融資獲得件数についても非常に高いので、これを継続していただきます。</p> <p>ミャンマーは未知数ですが、うまくいけば、かなりの成果になります。なぜ、ミャンマーに注目されたのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>中国、タイ、ベトナム、インドネシアへの進出は、ある程度、進んでいます。ミャンマーは最後のフロンティアと呼ばれています。また、以前から関西国際大学とミャンマーにあるヤンゴン大学との連携が進められていたということもあります。</p>
<p>会長</p>	<p>農業や縁結びも含めて、成果を外部に発信していく必要があります。ホームページ上に金物、農業、観光、商業を明示します。情報発信には、中小企業サポートセンターを活用します。施策一覧を作成して、企業訪問時に配布します。</p> <p>交流人口を増やして、できるだけお金を落とすようにします。ゴルフ場にお酒を置くことも一つの方法です。</p> <p>交流人口の目標が必要ですが、データはありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>観光では、入込客数調査があり、国勢調査で流出入の把握はできません。</p>
<p>会長</p>	<p>定住人口に対して、交流人口が何倍になるかという数値が評価の対象となると思います。</p> <p>今回の地方創生については、いかに東京から流出させるか。都市部から地方へ流出させることです。三木市の優遇措置をまとめる必要があります。</p>
<p>事務局</p>	<p>来年1月には、三木市版の地方創生本部を設置します。</p>
<p>会長</p>	<p>地方創生は、東京一極集中の是正以外に、プラットフォームづくりがあります。新連携や農商工連携といった小さなプラットフォームにお金を落とすようなシステムになります。1社でもなく組合でもないところになります。市というより商工会議所、商工会かもしれませんが、このプラットフォームをコーディネートするところが必要です。金物、観光、商業、農業が関わってきます。</p>
<p>委員</p>	<p>徳島県神山町では、IT系の人が多くいらっしゃる。世話好きの人が人を集めて、酒盛りして交流を深めています。</p>

会長	<p>成功事例のポイントは、リーダーの存在、事務局の体制、参加者の信頼関係の3つです。</p>
事務局	<p>市として、縁結び課で20から30代の女性を対象にアンケート調査を実施しました。求めておられる結婚相手は、正社員という回答の傾向が強いです。企業誘致をしても正社員が増えない。正社員をいかにして増やしていくかが課題です。</p>
会長	<p>正社員の全国の有効求人倍率は0.67です。全体の有効求人倍率は1.0を超え、中小企業では人手不足になっていますが、正社員はよくなっていない。</p> <p>今後は、ES（従業員満足度）が高いなど人を大切にする経営を実践することが求められています。そうすることで、コスト以上に儲かり、企業も成長し、地域も成長します。経営品質の高い企業として表彰や認定を受ければ、融資や補助金が受けやすくなるなど企業の信用創造につながります。兵庫県は、優良経営賞を作っていますが、三木市でも企業の顕彰制度をつくっていくことも重要です。順番や推薦方式でなく、申請方式など企業に手をあげさせる方法をとる必要があります。</p>
事務局	<p>委員の皆様にご評価していただいたものは継続していきます。プラスαでご意見いただいたものを実現するための予算を考えていきます。次回の開催は、年度末を予定しています。</p>

8 閉 会